

H-UDI コネクタ接続例

2.4 版 2016年01月07日

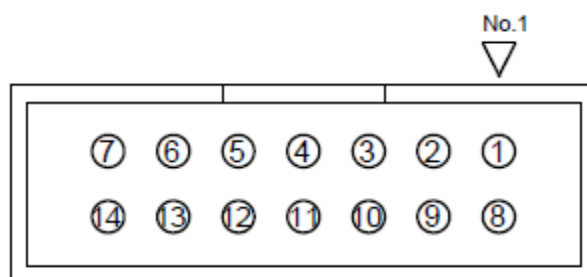
1. 概要

本書では、H-UDI アダプタを使用される場合の H-UDI コネクタと CPU 間の接続例を紹介いたします。H-UDI アダプタは、デバッグや H-UDI 経由で FLASHROM 書き込みを行うために使用するツールです。弊社製の H-UDI アダプタには、以下の製品があります。

- ・ XrossFinder
- ・ XrossFinder Evo
- ・ HJ-LINK
- ・ HJ-LINK/USB

2. H-UDI コネクタのピンアサイン

H-UDI コネクタのピンアサインを下記に示します。

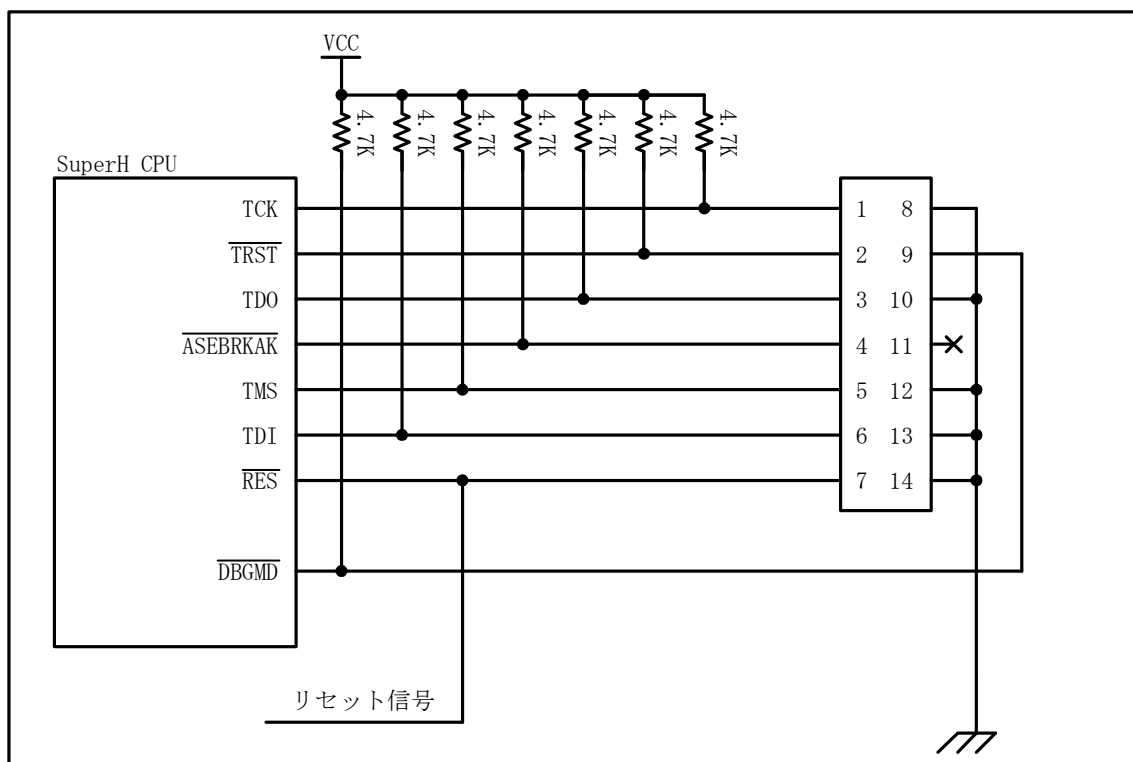


H-UDI コネクタピンアサイン (上面図)

3. 接続例

(1) SH7047 シリーズ接続図

対象 CPU SH7047



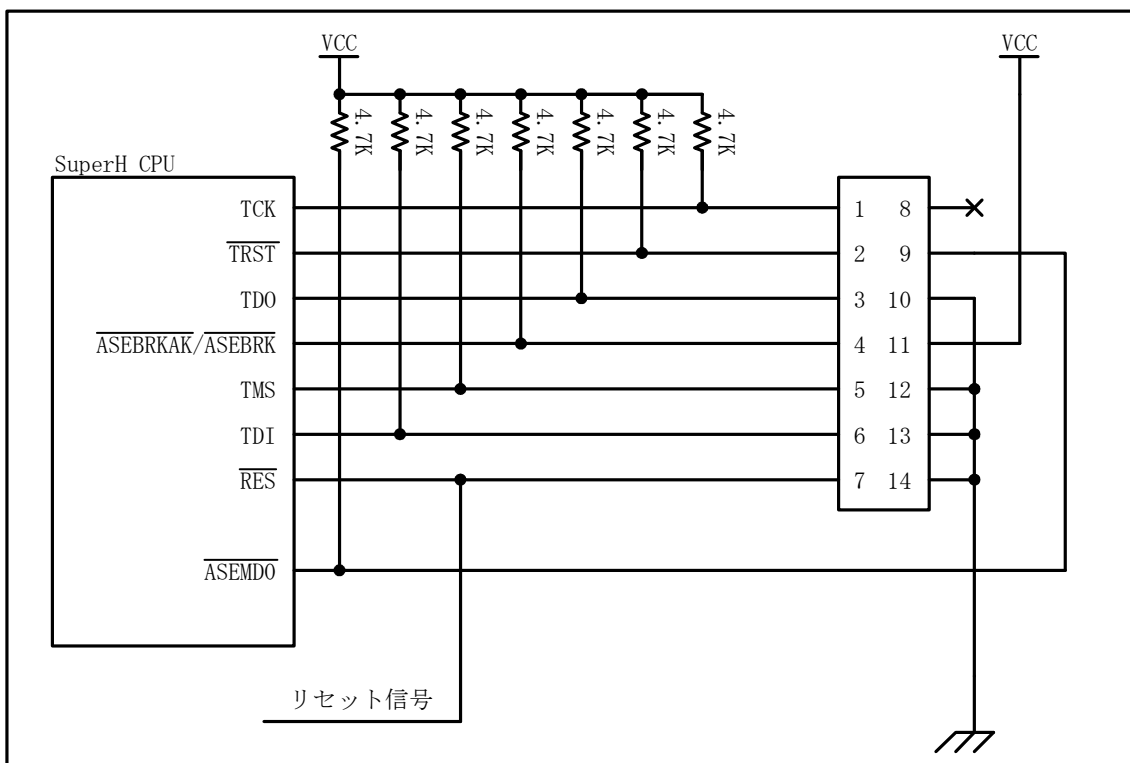
SH7047 接続図

DBGMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(2) SH7080 シリーズ接続図

対象 CPU SH7083
 SH7084
 SH7085
 SH7086

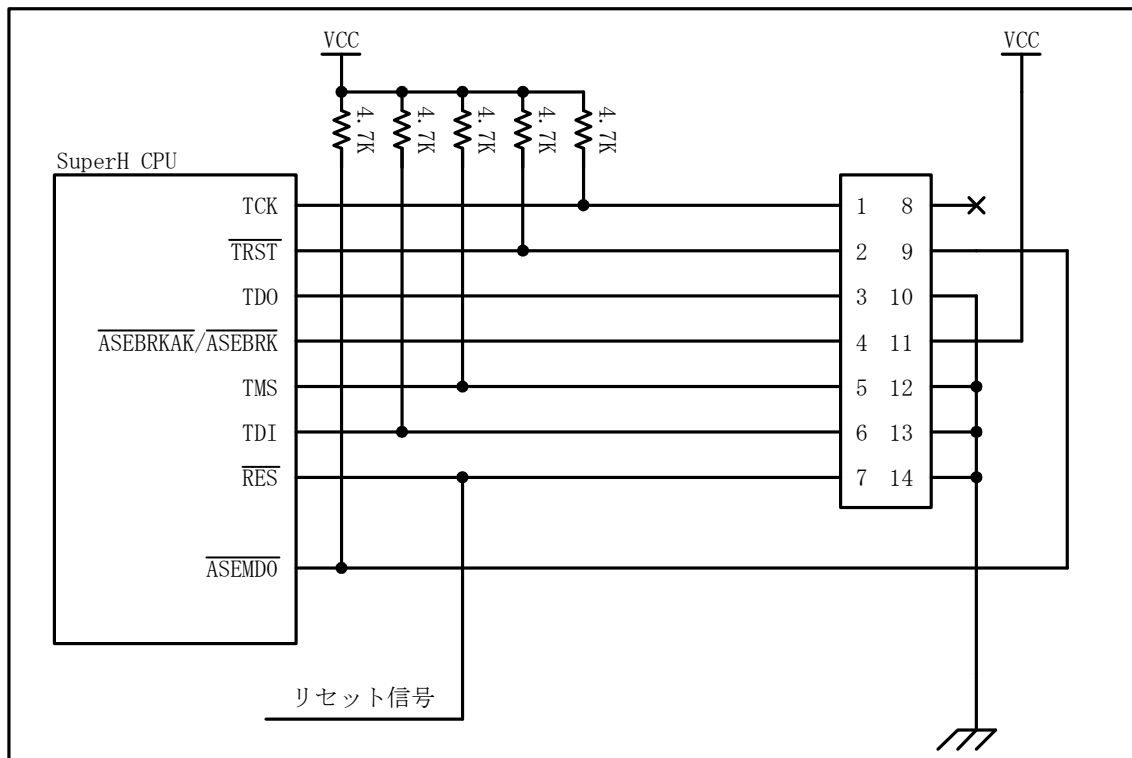


SH7083,SH7084,SH7085,SH7086 接続図

ASEMD0 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。
 この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(3) SH/TINY シリーズ接続図

対象 CPU SH7124
 SH7125



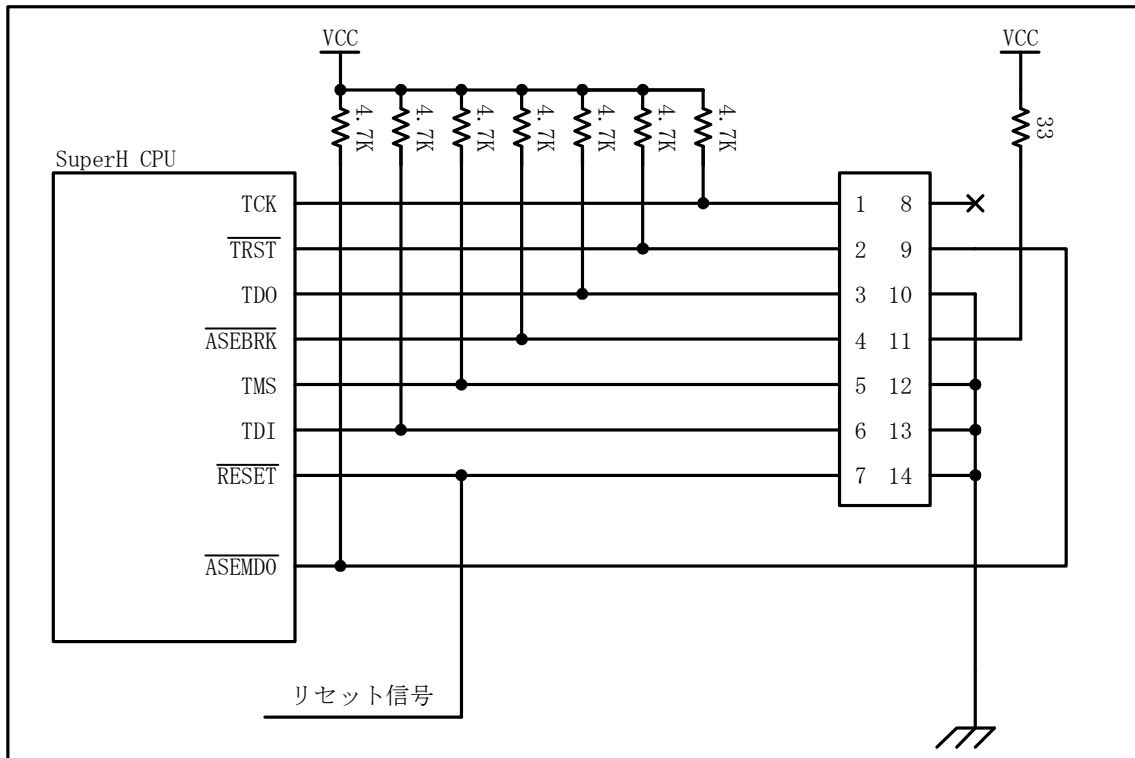
SH7124,SH7125 接続図

ASEMD0 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(4) SH7137 シリーズ接続図

対象 CPU SH7136
 SH7137



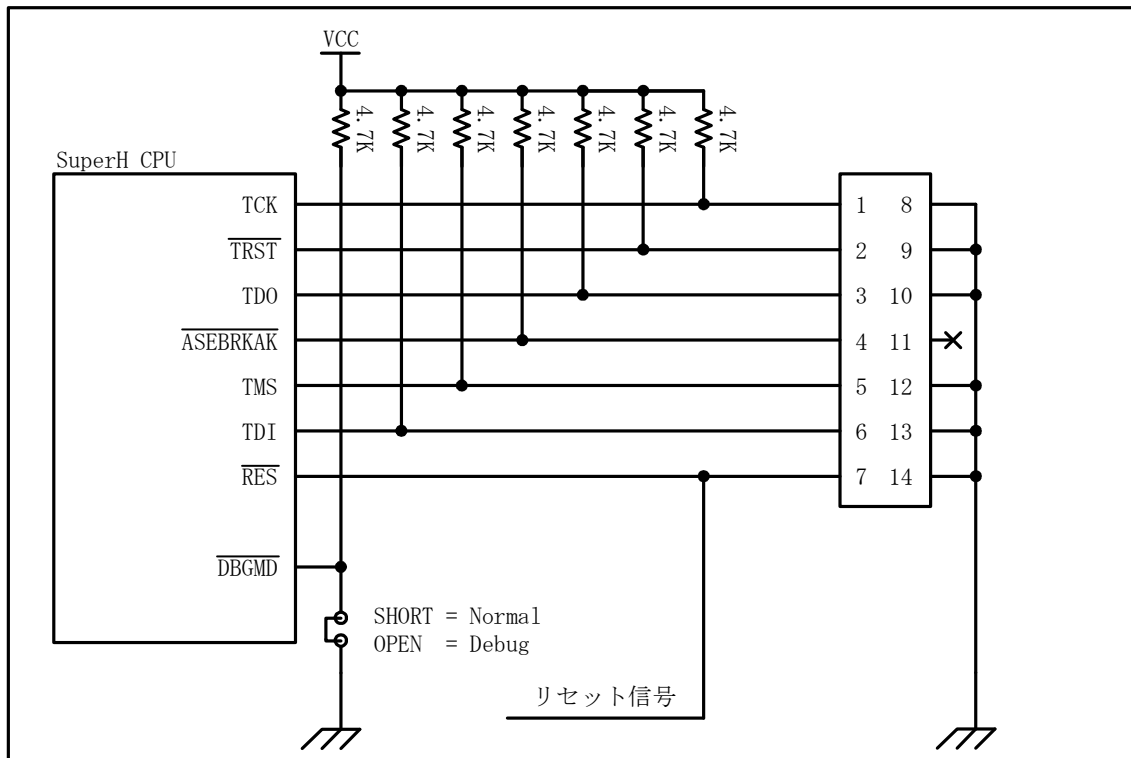
SH7136,SH7137 接続図

ASEMD0 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(5) SH7144 シリーズ接続図

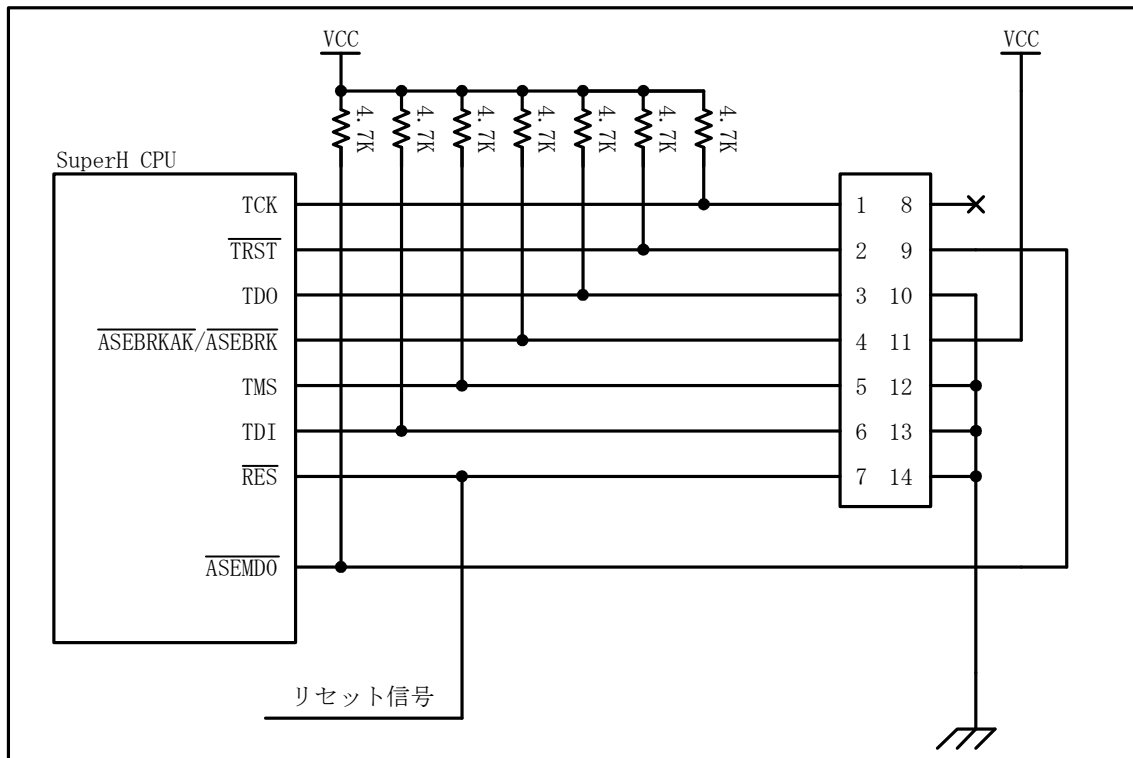
対象 CPU SH7144
 SH7145



SH7144,SH7145 接続図

(6) SH7146 シリーズ接続図

対象 CPU SH7146
 SH7149



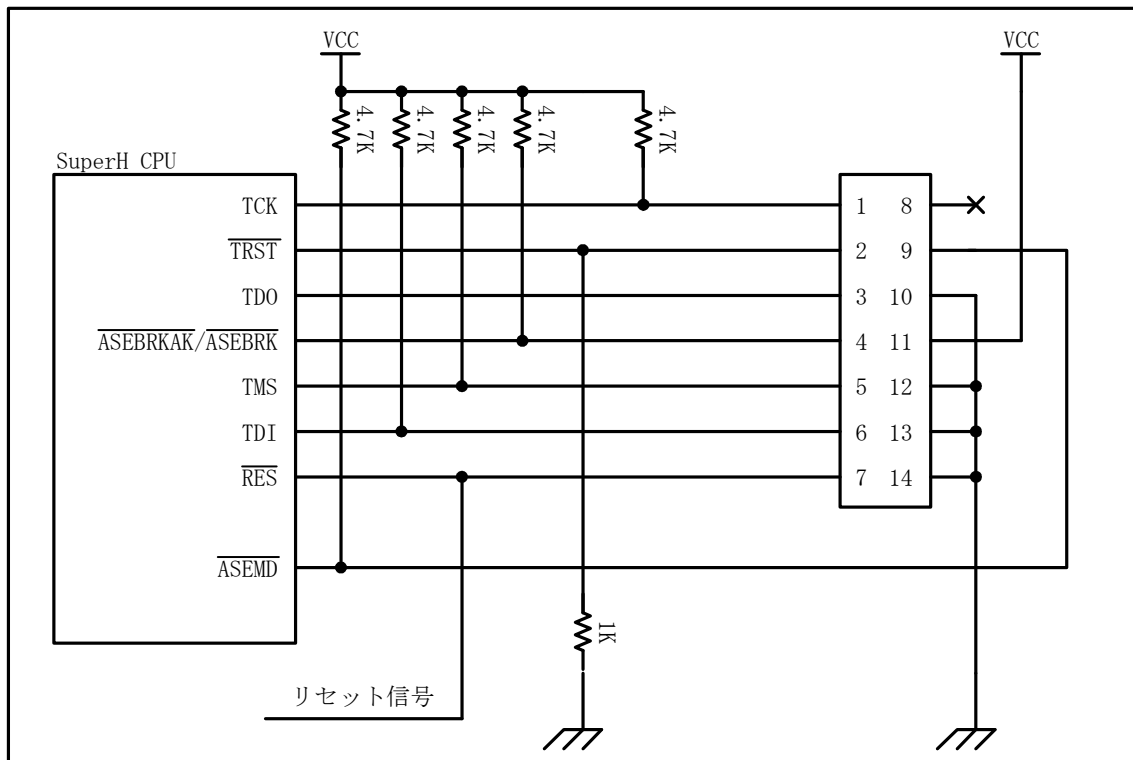
SH7146,SH7149 接続図

ASEMD0 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(7) SH7200 シリーズ接続図

対象 CPU SH7201
 SH7203
 SH7206



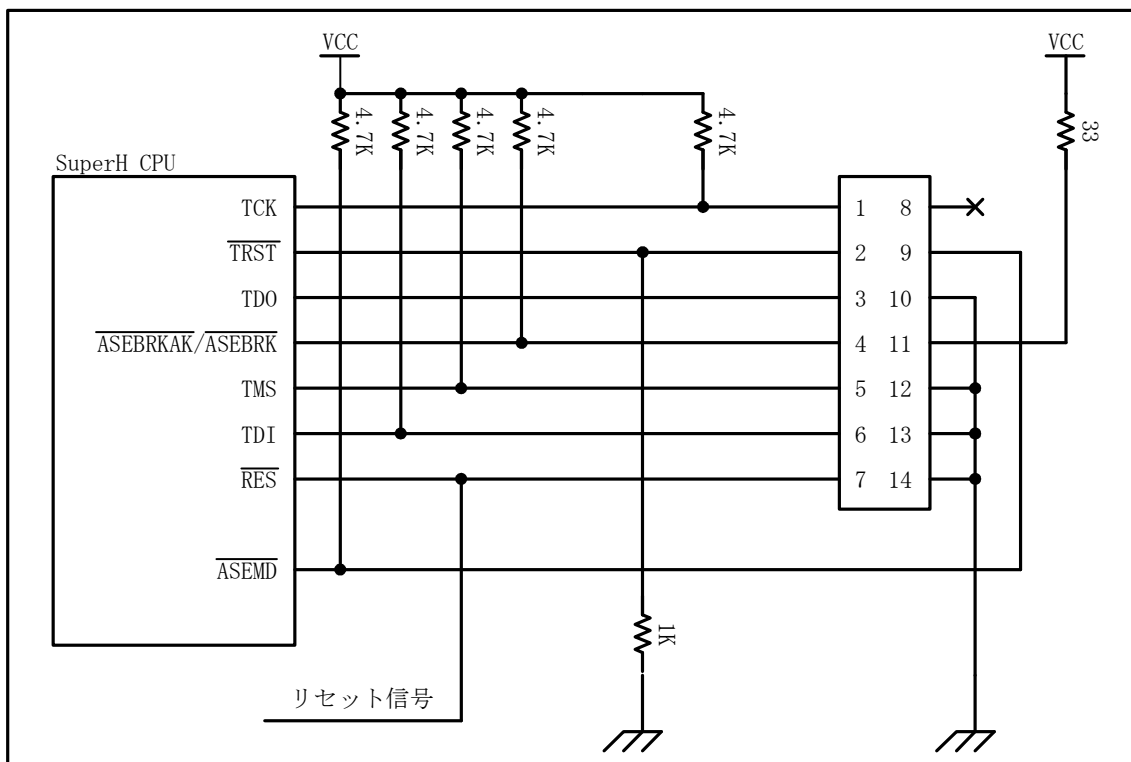
SH7201,SH7203,SH7206 接続図

ASEMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(8) SH7205 接続図

対象 CPU SH7205



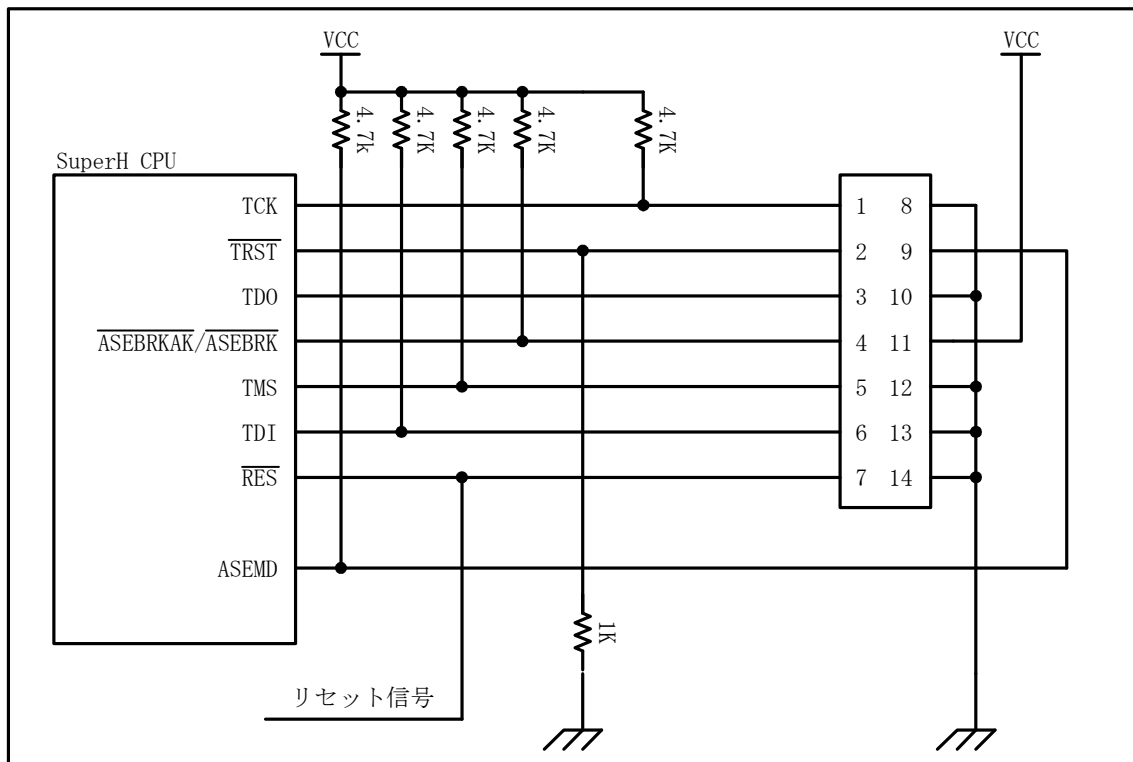
SH7205 接続図

ASEMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(9) SH7210 シリーズ接続図

対象 CPU SH7211



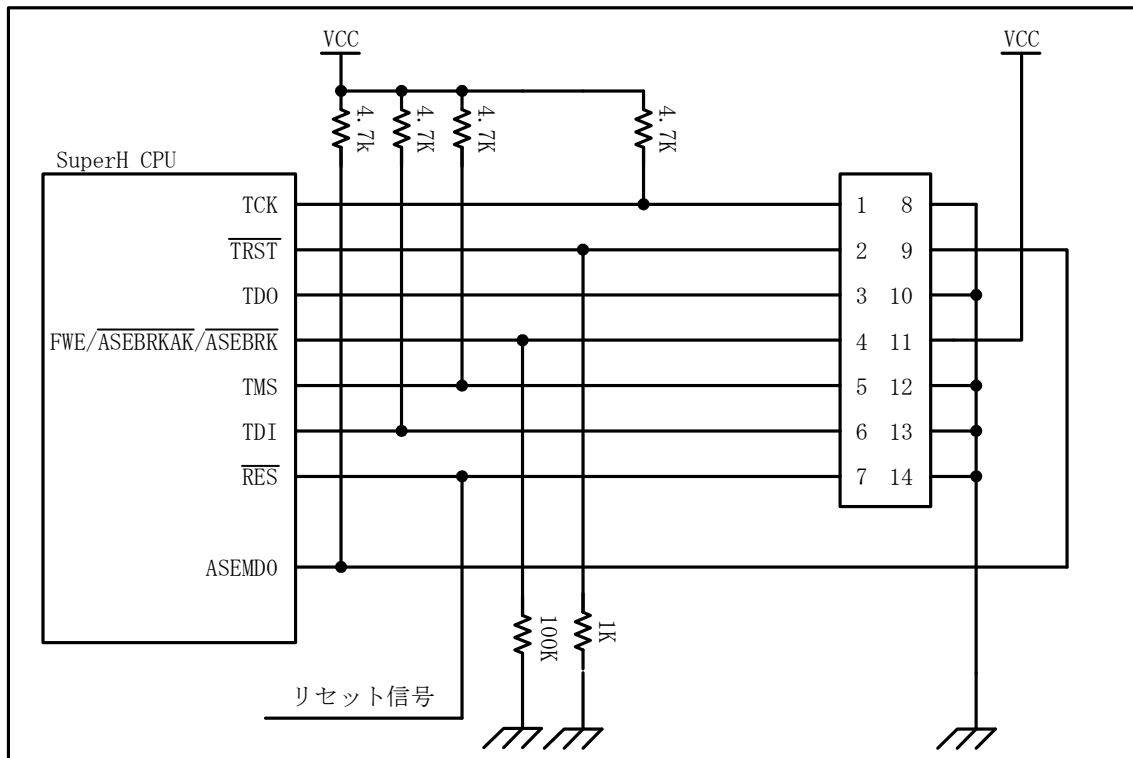
SH7211 接続図

ASEMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(10) SH7216 シリーズ接続図

対象 CPU SH7214
 SH7216



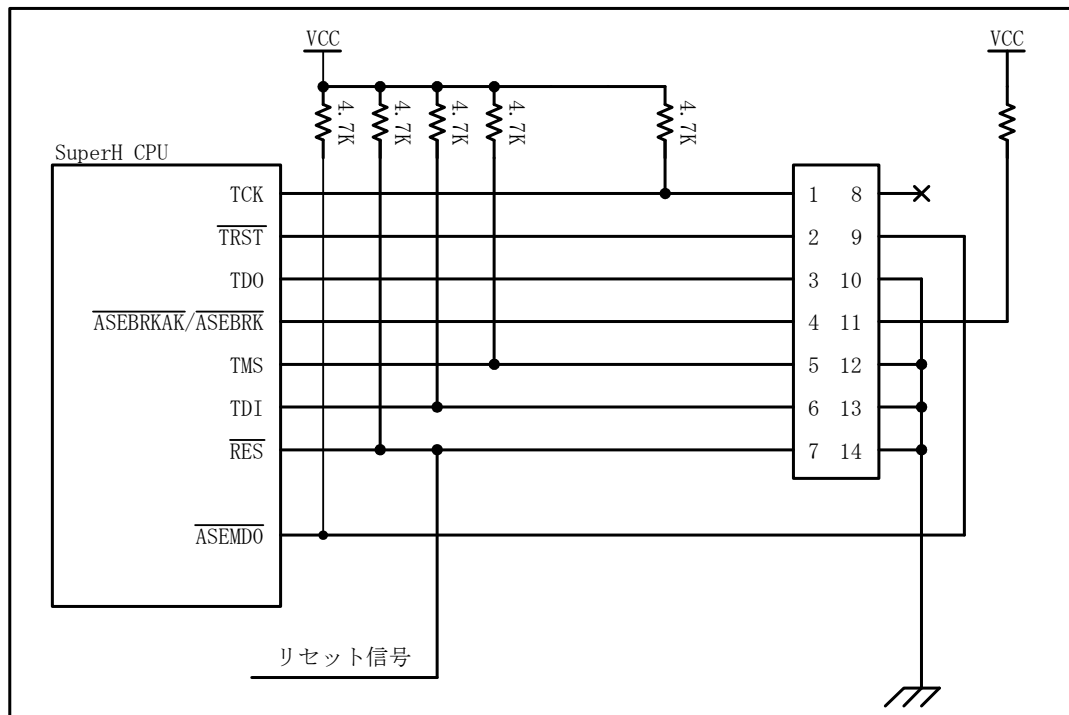
SH7216 接続図

ASEMD0 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(11) SH7239 シリーズ接続図

対象 CPU SH7237
 SH7239



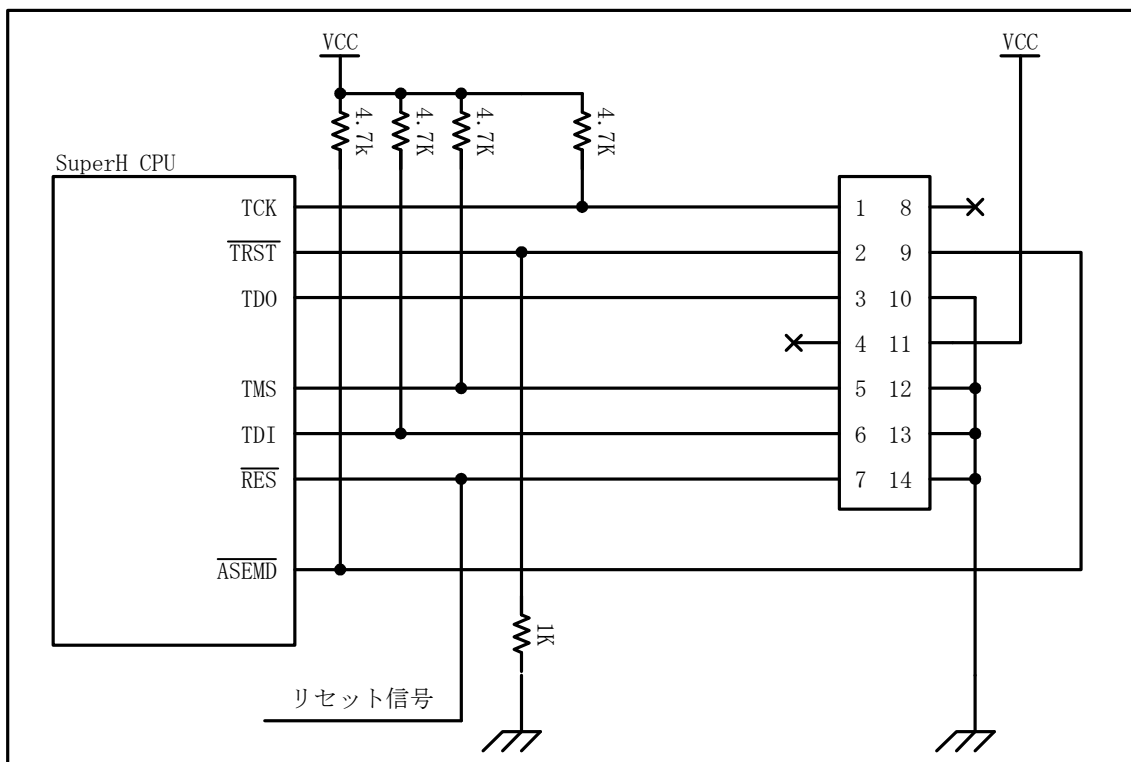
SH7239 接続図

ASEMD0 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(12) SH7254 シリーズ接続図

対象 CPU SH72544R



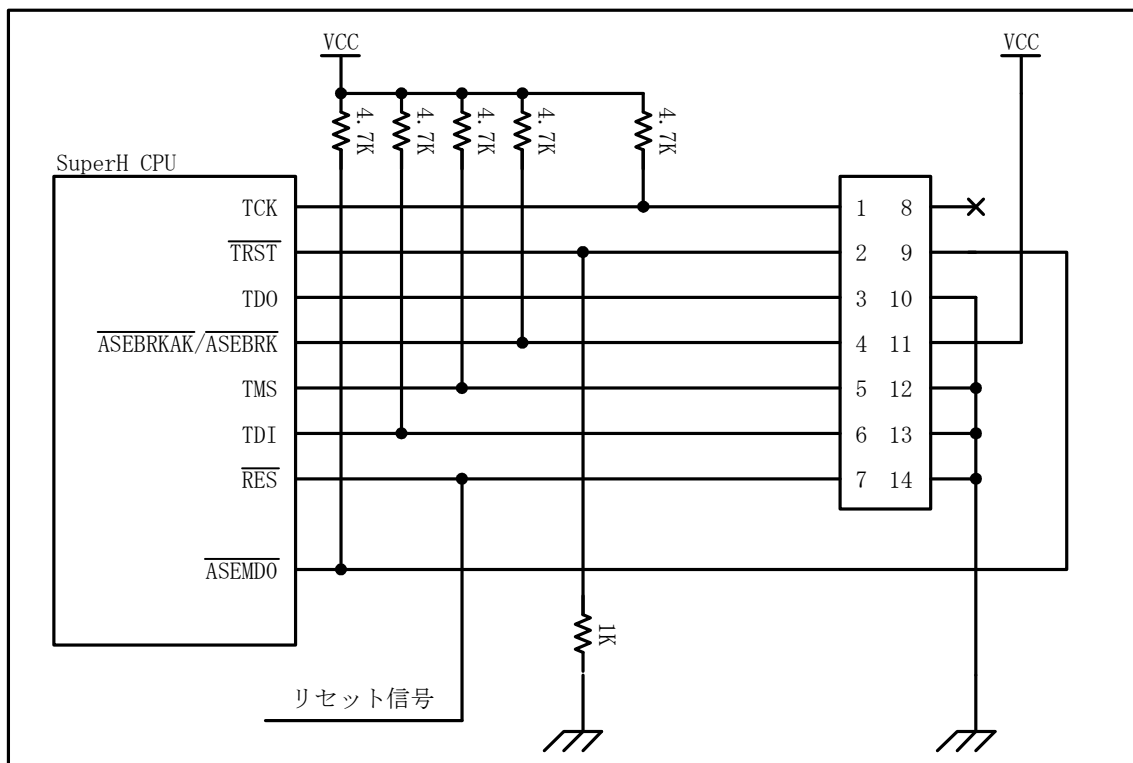
SH72544R 接続図

ASEMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(13) SH7260 シリーズ接続図

対象 CPU
 SH7261
 SH7262
 SH7263
 SH7264
 SH7266
 SH7267
 SH7268
 SH7269



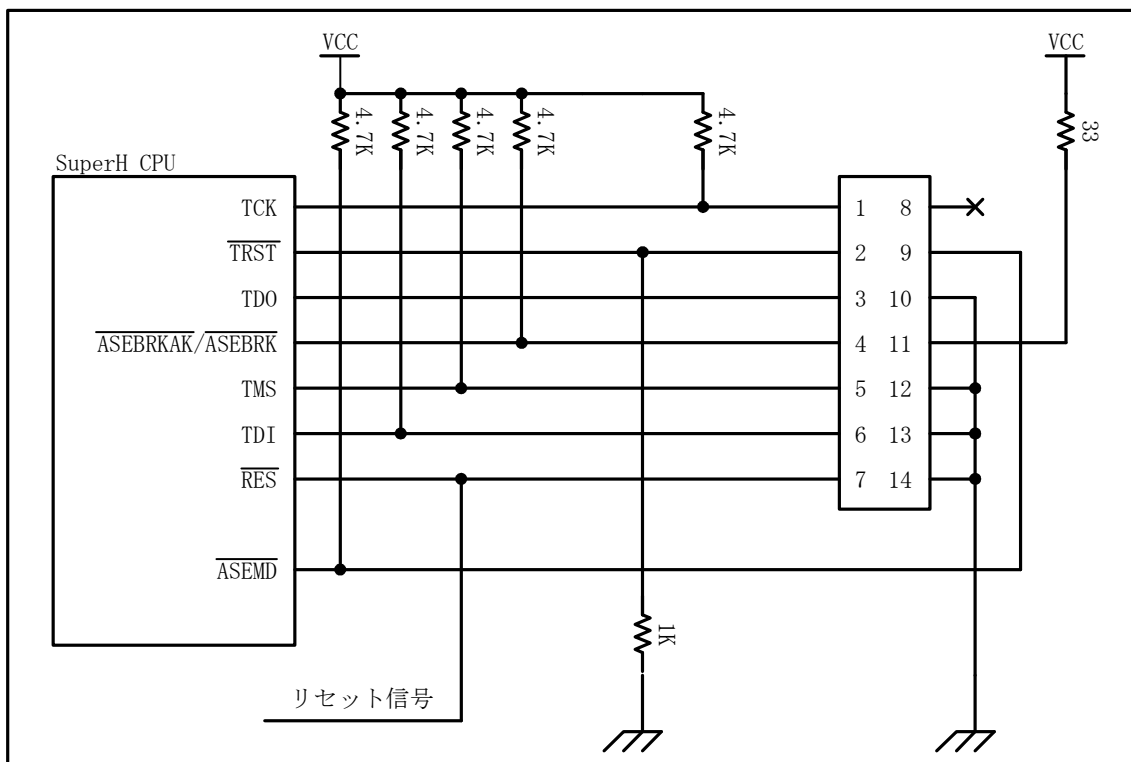
SH7260 シリーズ接続図

ASEMD0 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(14) SH7265 接続図

対象 CPU SH7265



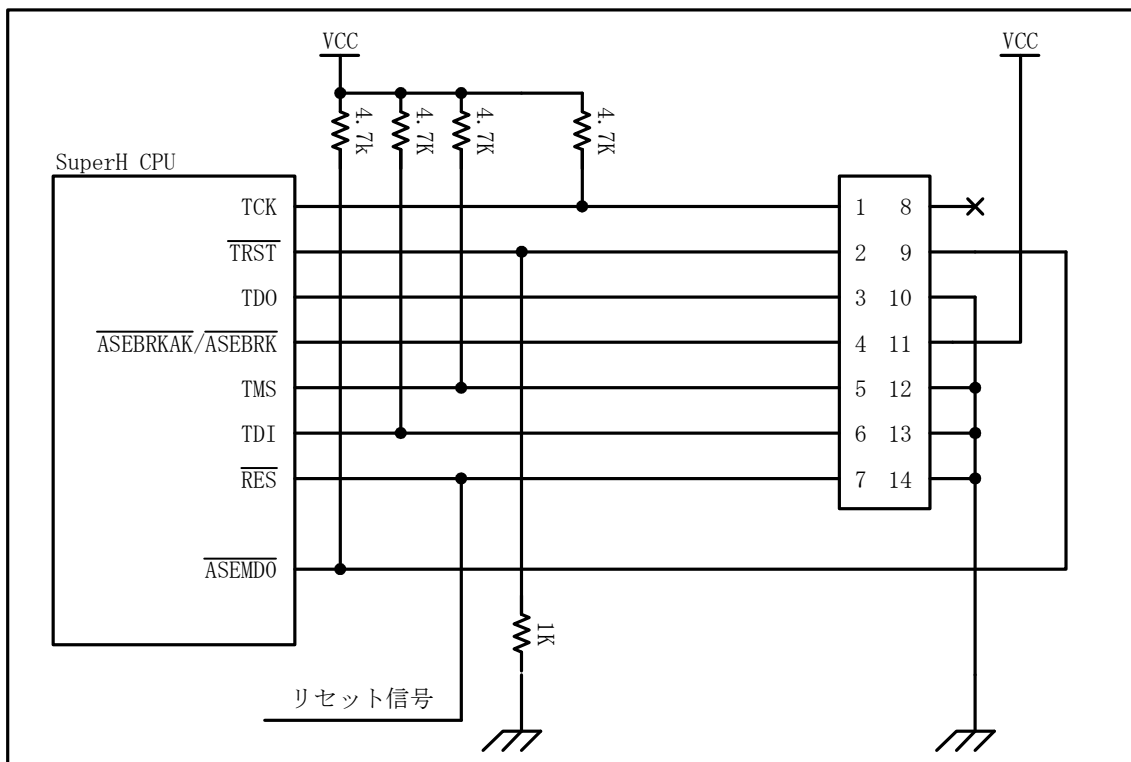
SH7265 接続図

ASEMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(15) SH7280 シリーズ接続図

対象 CPU SH7243
SH7285
SH7286



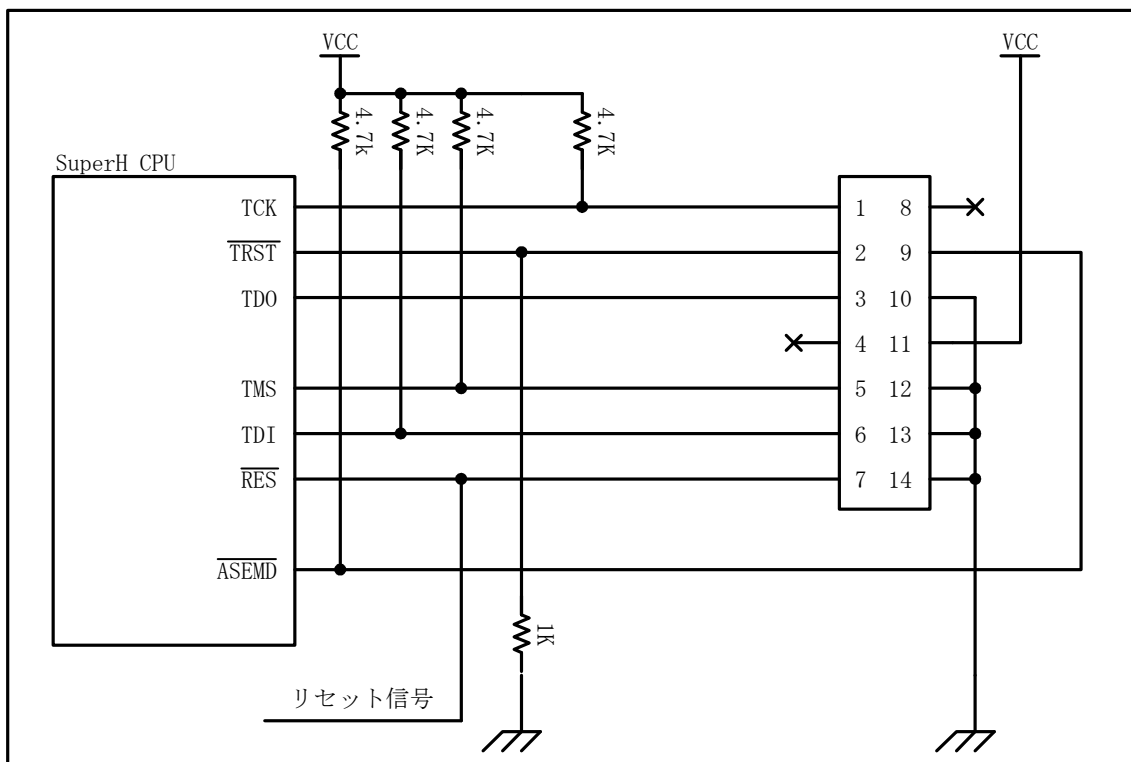
SH7243, SH7285, SH7286 接続図

ASEMD0 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(16) SH7606 シリーズ接続図

対象 CPU SH7606



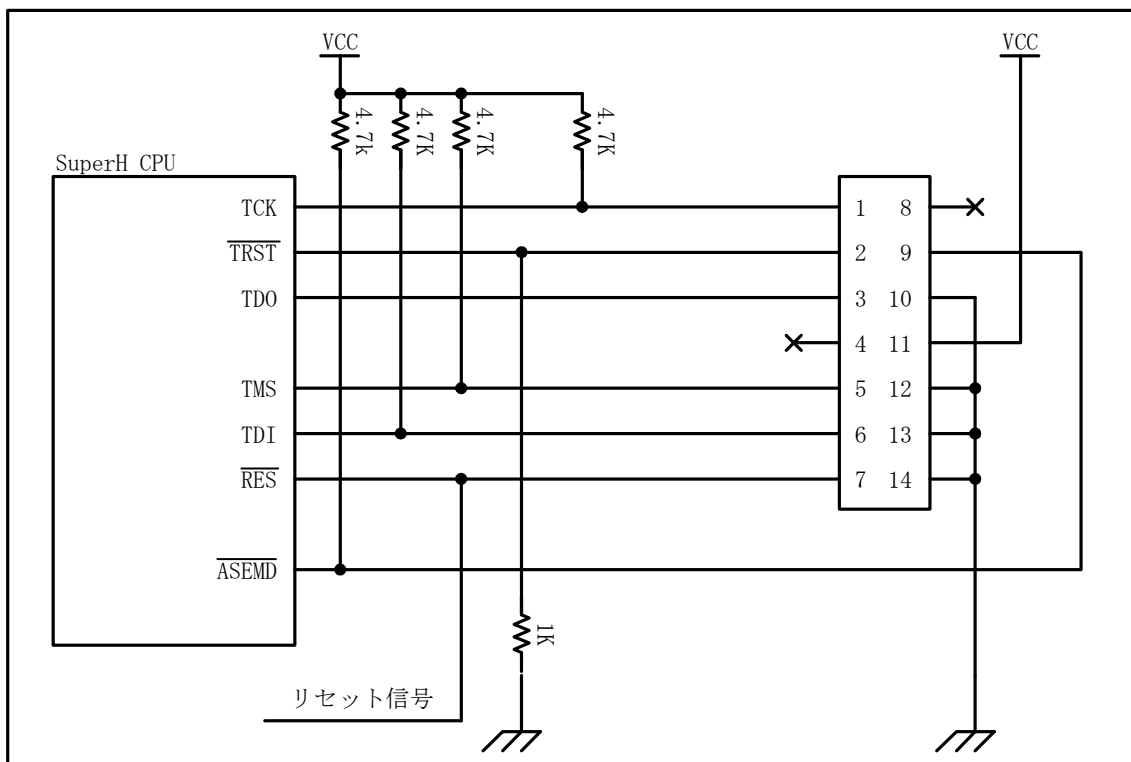
SH7606 接続図

ASEMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(17) SH-7619 接続図

対象 CPU SH7619



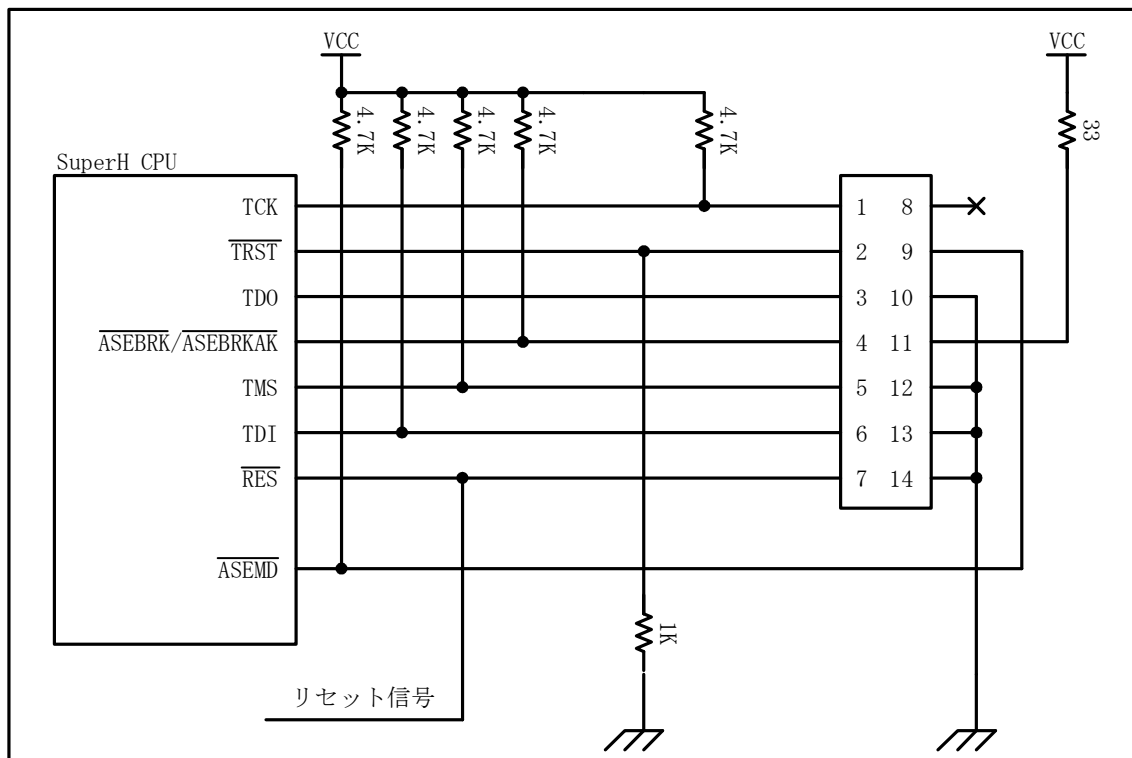
SH7619 接続図

ASEMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(18) SH7670 グループ接続図

対象 CPU SH7670
 SH7671



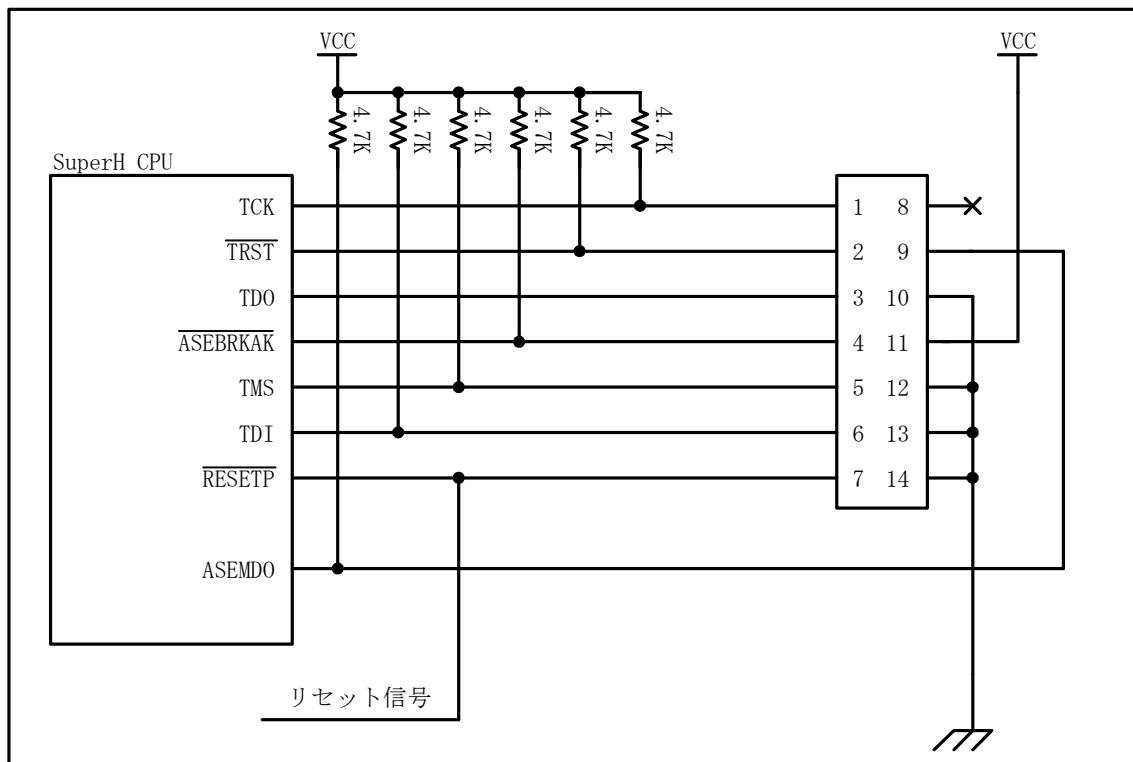
SH7670,SH7671 接続図

ASEMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(19) SH7700 シリーズ接続図

対象 CPU
 SH7709A
 SH7709S
 SH7727
 SH7729
 SH7729R



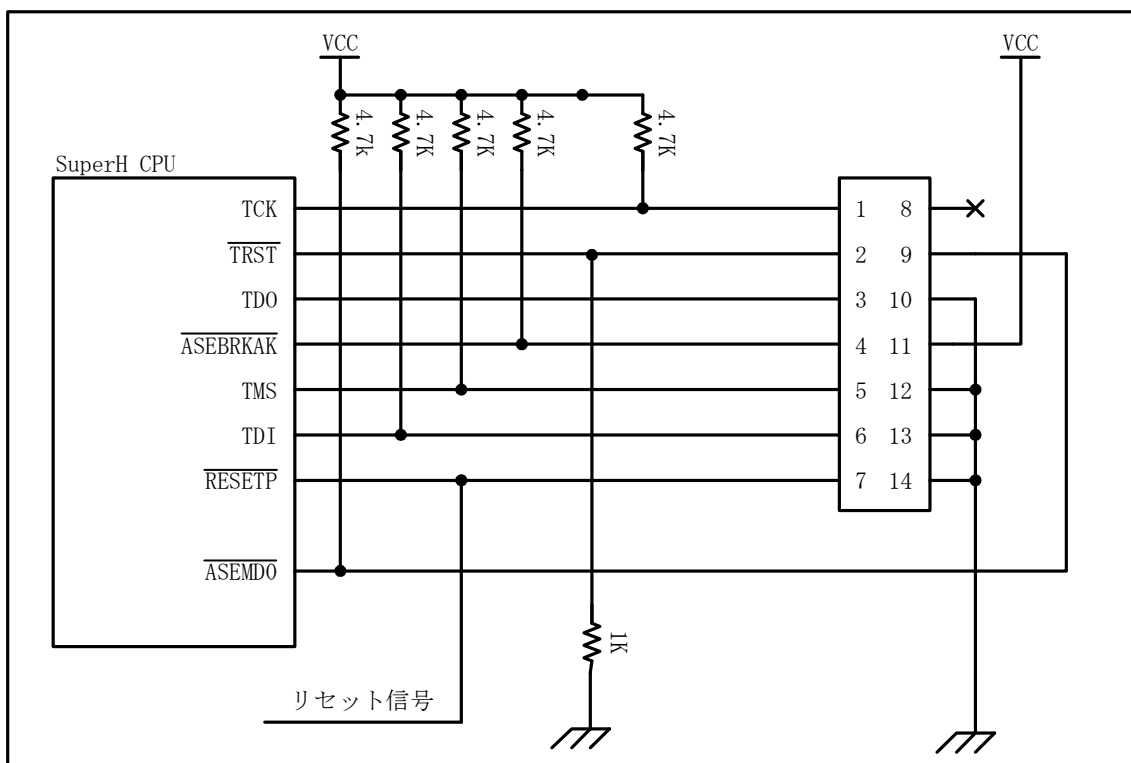
SH7709A,SH7709S,SH7727,SH7729,SH7729R 接続図

ASEMD0 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(20) SH7705、SH7710、SH7721 シリーズ接続図

対象 CPU SH7705
 SH7710
 SH7712
 SH7721

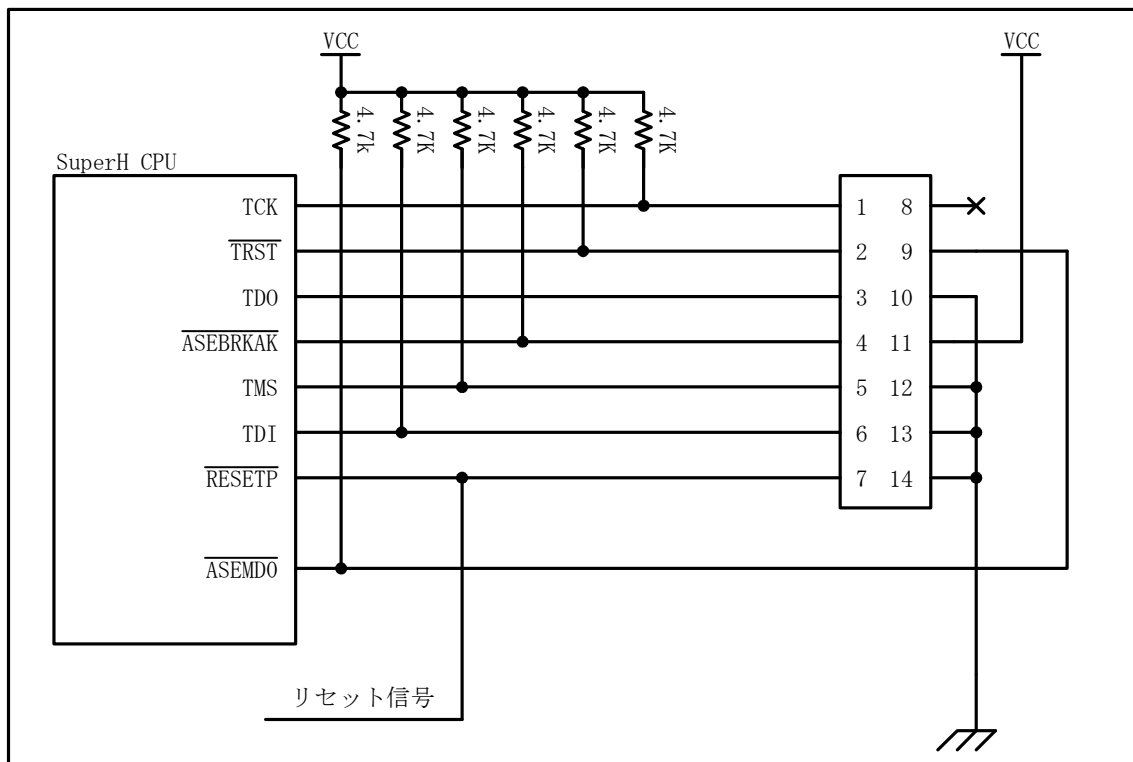


SH7705、SH7710、SH7721 シリーズ接続図

ASEMD0 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。
 この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(2 1) SH7706 接続図

対象 CPU SH7706



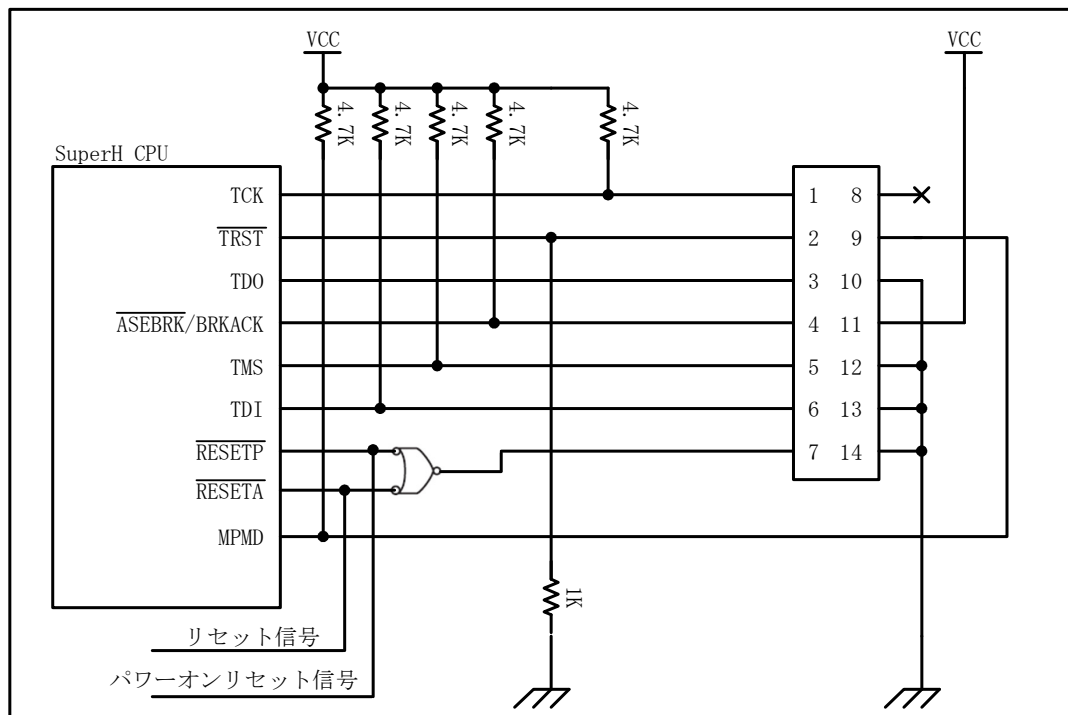
SH7706 接続図

ASEMD0 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(22) SH7724 接続図

対象 CPU SH7724



SH7724 接続図

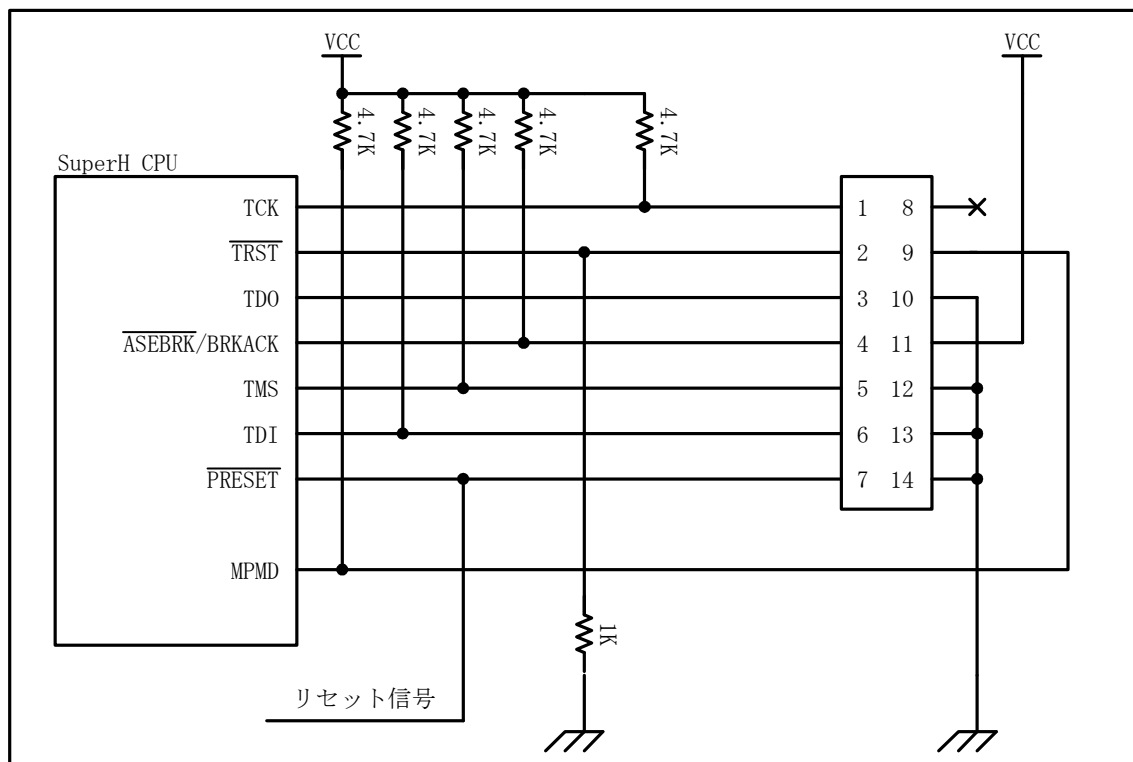
MPMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

RESETA を使用されない場合は、HIGH レベル固定にしてください。

(23) SH7730 接続図

対象 CPU SH7730



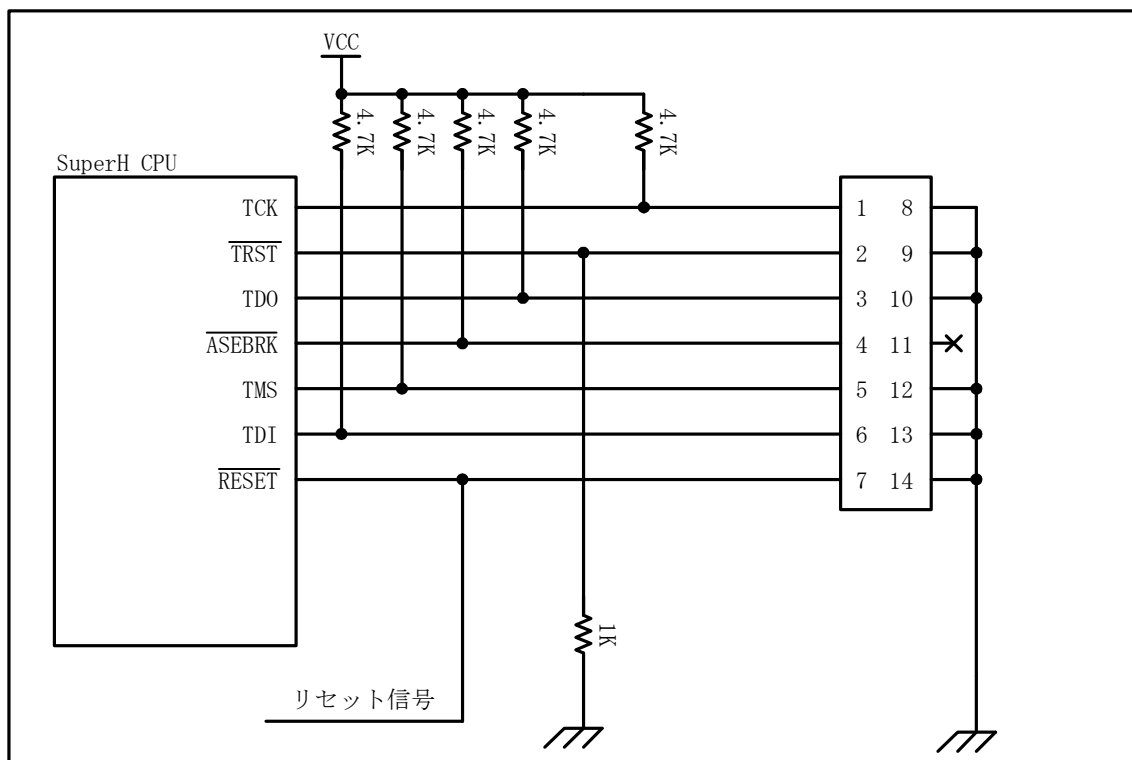
SH7730 接続図

MPMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(24) SH7750 シリーズ接続例

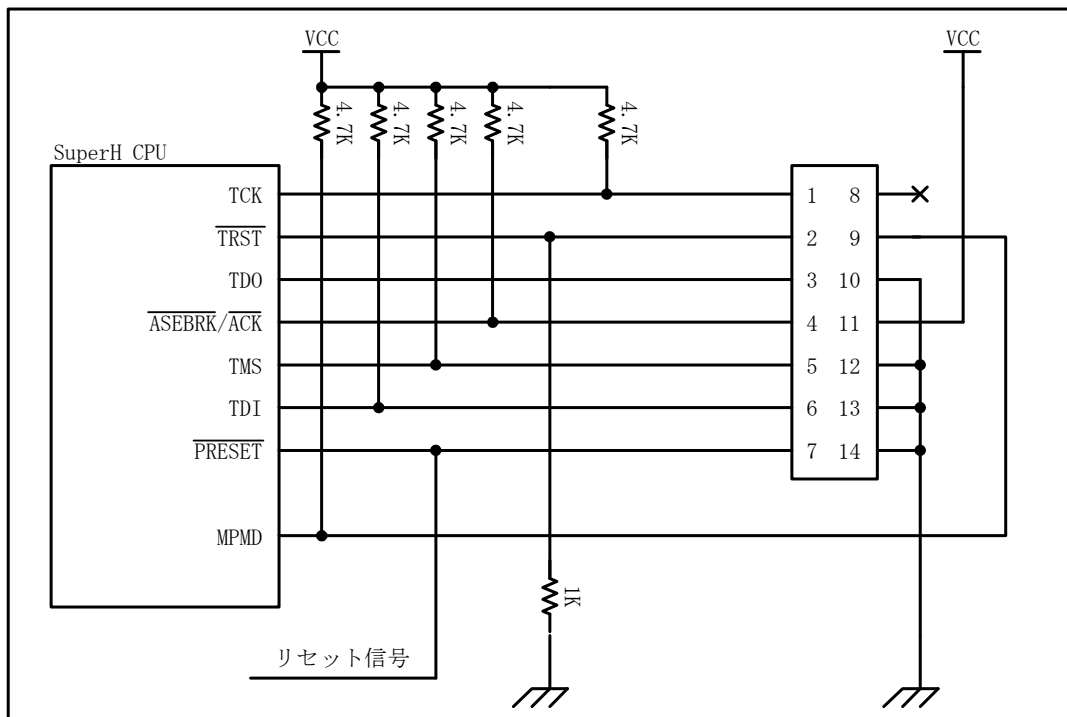
対象 CPU
 SH7750
 SH7750S
 SH7750R
 SH7751R
 SH7760



SH7750,SH7750S,SH7750R,SH7751R,SH7760 接続図

(25) SH7734 シリーズ接続図

対象 CPU SH7734



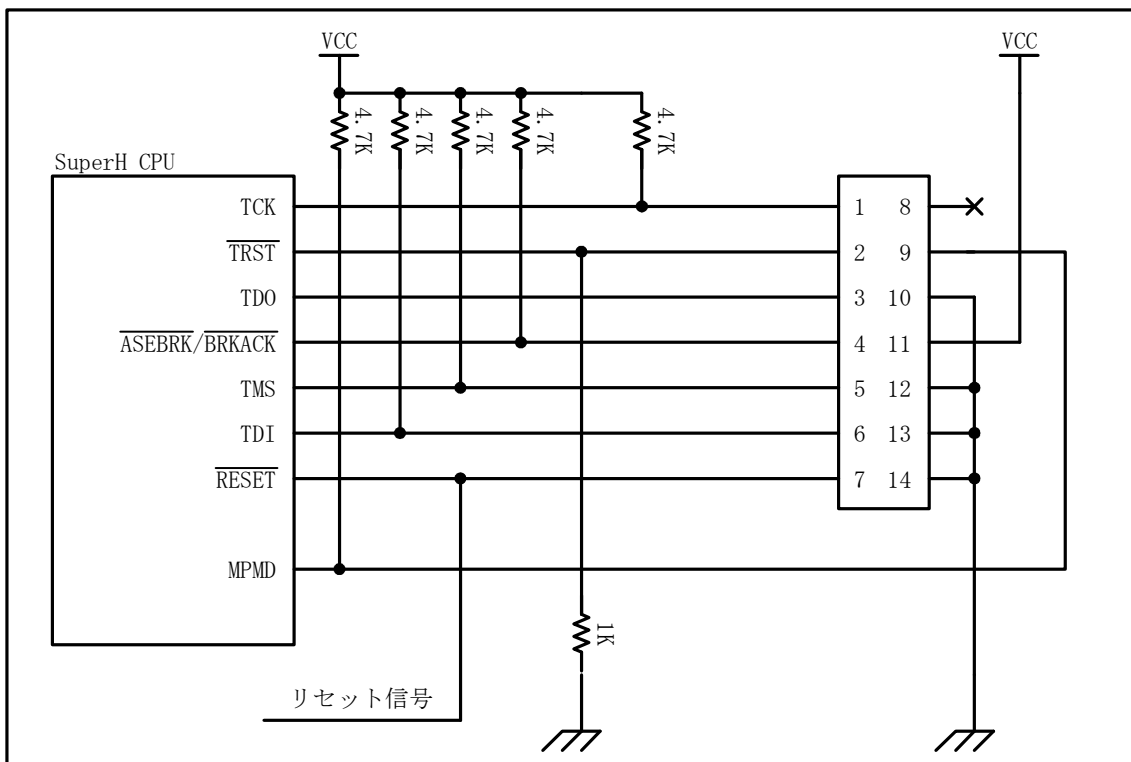
SH7734 シリーズ接続図

MPMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(26) SH7763、SH7450 シリーズ接続図

対象 CPU SH7763
 SH7450
 SH7451



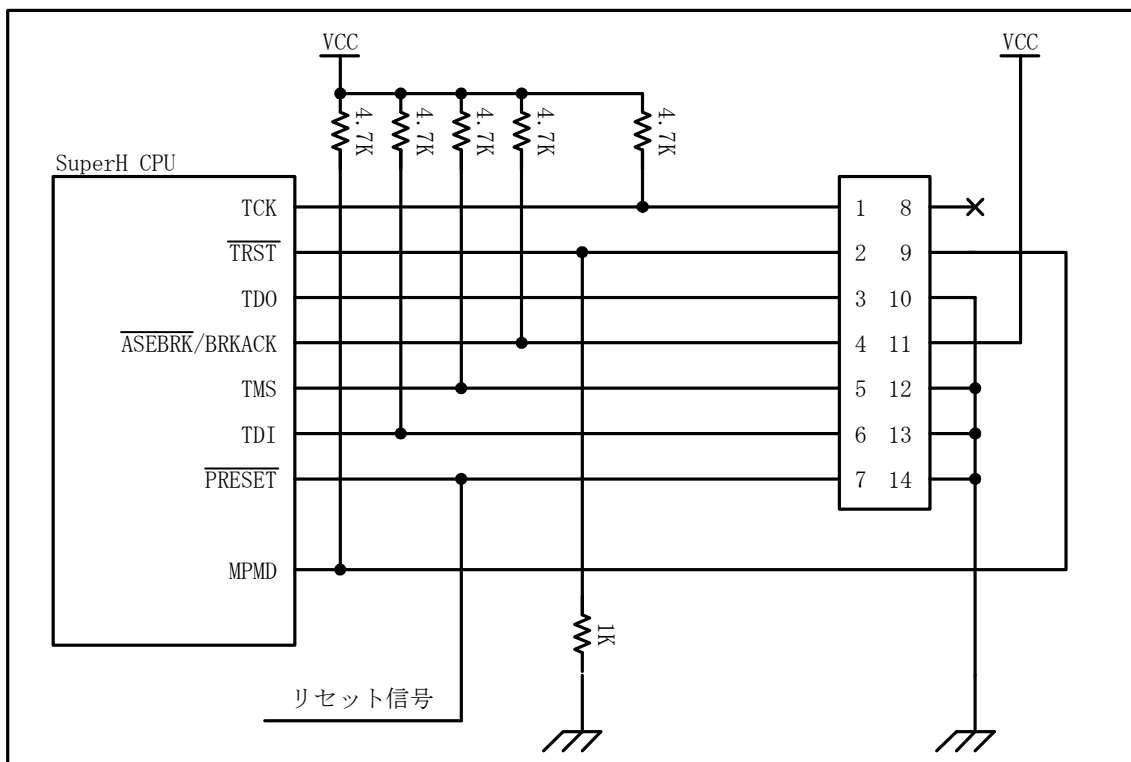
SH7763、SH7450 シリーズ接続図

MPMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(27) SH7764 接続図

対象 CPU SH7764



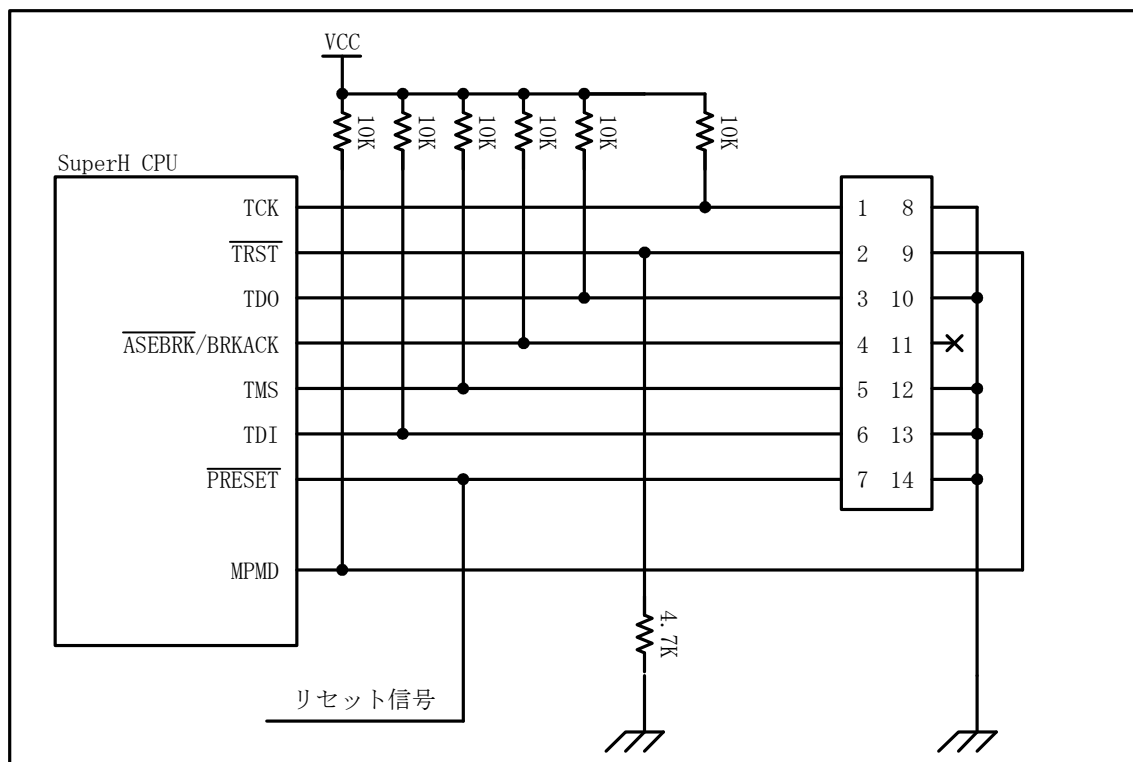
SH7764 接続図

MPMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(28) SH7780 シリーズ接続図

対象 CPU SH7780



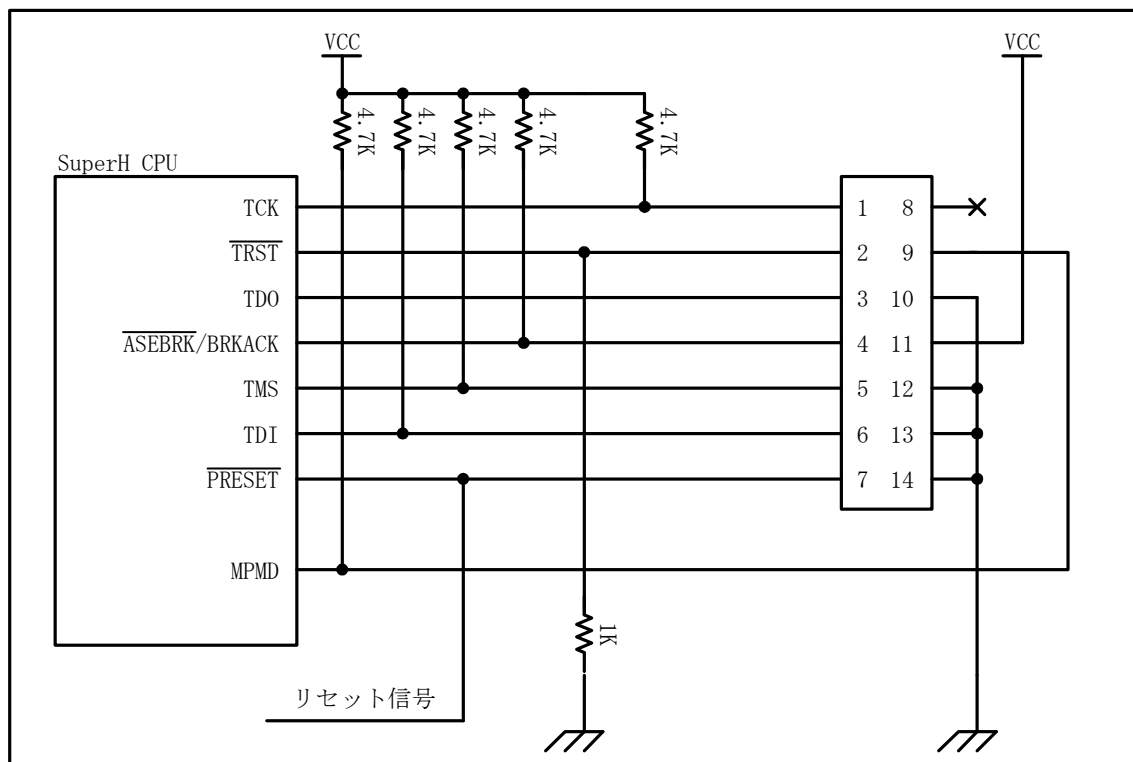
SH7780 接続図

MPMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(29) SH7785 シリーズ接続図

対象 CPU SH7785



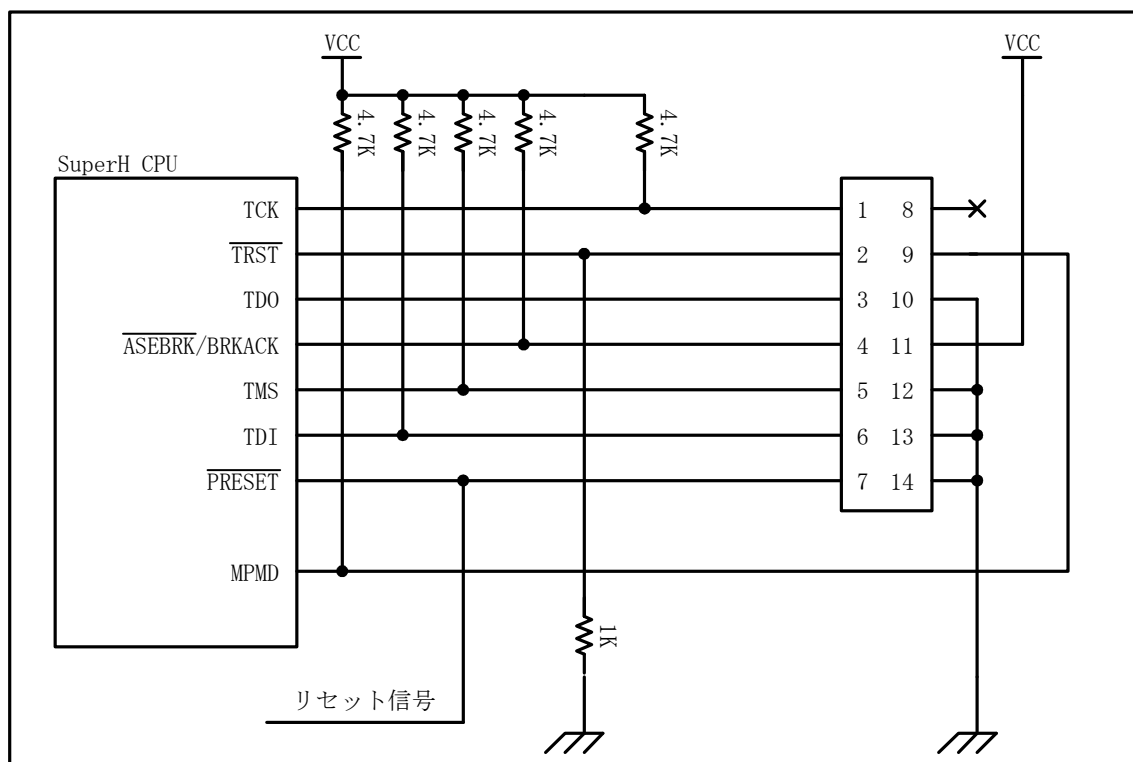
SH7785 接続図

MPMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、XrossFinder Evo や FlashWriter EX を使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

(30) SH7786 シリーズ接続図

対象 CPU SH7786



SH7786 接続図

MPMD 端子を H-UDI コネクタの 9 番ピンに接続していますが、ジャンパピンなどにより、レベルを固定することも可能です。

この場合、H-UDI アダプタを使用される場合には、LOW レベルに、CPU を通常動作させる場合には、HIGH レベルに設定してください。

ご注意

- ・本文書の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有します。
- ・本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。
- ・本文書に記載された回路図およびサンプルプログラム等の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有しますが、お客様のアプリケーションで使用される場合には、ご自由にご利用いただけます。
- ・本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・本文書に記載されている内容およびサンプルプログラムについての質問等のサポートは一切受け付けておりませんのでご了承ください。
- ・本文書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点、誤りなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡下さい。
- ・本文書の内容およびサンプルプログラムに基づき、アプリケーションを運用した結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。

- ・ SuperH は、Renesas の登録商標、商標または商品名称です。
- ・ その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



株式会社アルファプロジェクト
〒431-3114
静岡県浜松市東区積志町 834
<http://www.apnet.co.jp>
E-MAIL : query@apnet.co.jp